2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成30年度（第10年度）
当初計画　A		744,760	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額　B		731,395	105,934	107,834	—	—	—	—
現在計画　C		—	—	107,834	104,000	104,000	104,000	106,970
B－A又はC－A		△ 13,365	1,934	3,834	—	—	—	7,597
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970	626,970	522,970	418,970	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成30年度（第10年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5	440.4	382.8	319.8	—

鳥取県米子市　流通業務団地整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・平成23年８月に分譲価格及び借地料の価格の見直しをし、分譲価格を約19%引き下げた。

・既進出企業が定期借地を分譲に切り替えたことにより分譲面積が拡大（約2,300平方メートル）した。また、新規で定期借地による進出（約9,200平方メートル）があり、団地利用率が約83.9パーセントに増加した。

・平成22年３月31日に策定した流通業務団地整備事業経営健全化計画に基づき、資金不足解消のために一般会計から100,000千円の繰入れをした。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成25年度（第５年度）
当初計画　A		△ 130,252	△ 119,857	△ 117,079	2,641,904
解消実績額　B		△ 240,602	△ 202,993	△ 72,871	—
現在計画　C		—	—	△ 72,871	2,883,501
B－A又はC－A		△ 110,350	△ 83,136	44,208	241,597
資金不足額	2,166,546	2,407,148	2,610,141	2,683,012	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。